



プラチナ構想ネットワーク

第16回プラチナイブニングセミナー 開催のご案内

日 時 2019年6月25日(火) 16:00~18:30

場 所 イトーキ東京イノベーションセンター SYNQA
(東京都中央区京橋3-7-1 相互館110タワー1F)

※同会場は当会法人会員の株式会社イトーキ様のご厚意によるものです。

■プログラム (変更になる場合があります。)

16:00-16:05 【事務局連絡】

16:05-16:10 【主催者挨拶】プラチナ構想ネットワーク事務局長 平石 和昭

16:10-17:10 【講演】伊勢根付職人 東海若手女性職人グループ 凜九 代表

梶浦 明日香 様

「若手女性職人たちによる地方の魅力づくり」

17:10-17:30 【質疑応答】

17:30-18:30 【交流会】(予定)

参加費：会員 ならびに会員団体所属メンバー 無料、 非会員 1,000円 (交流会参加費含む)

参加お申し込みはメールにて、①お名前(ふりがな) ②ご所属・役職 ③メールアドレス

④お電話番号を明記の上 seminar@platinum-network.jp 宛にお申し込みください。

〔締切 2019年6月20日(木)〕

■講師のご紹介

かじうら あすか

梶浦 明日香 様

伊勢根付職人 東海若手女性職人グループ 凜九 代表

【プロフィール】

伊勢根付職人 10年目。東海若手女性職人グループ『凜九』代表。元NHKキャスター 根付の粋な遊び心、細かな彫りの美しさに感銘を受けるとともに、伝統工芸の火を絶やしてはいけないと弟子入り。

2018年 DISCOVER THE ONE JAPANESE ART 2018 IN LONDON 大賞受賞

【講演概要】

今、伝統工芸は後継者不足により存続の危機に瀕しています。

そんな中、伝統工芸界では珍しい若手の女性職人がグループをつくり、これまでになかった横のつながりを通じて伝統工芸を未来に残そうと活動しています。

伝統工芸を未来に残すこと、地域における伝統工芸の意義、女性が伝統工芸の世界で働くということなど、現代における伝統工芸が持つ可能性と問題点を伝統工芸の魅力とともにお話しします。



梶浦 様 の紹介動画：<https://www.athome-tobira.jp/story/063-kajiura-asuka.html>

伊勢根付について

★ 根付とは

根付は、巾着などの提げものの先端につけ、着物の帯に装着するための留め具で、機能性と造形美を備えています。

使い込むことで、独特の“なれ”という美しさを生み出し価値が増す『触覚の芸術品』です。

洒落、おかしみ、とんちといった遊び心。

象嵌、浮かし彫り、からくり細工といった技。

縁起、祈りといった想い。

江戸の粋を現代に伝える工芸品です。



明治期以降、多くは海外へ輸出されたことから、日本ではほとんど見る事ができず知られていませんが、海外で高く評価される日本の伝統工芸です。

★ 伊勢根付の特徴

材料に、伊勢神宮の裏山である朝熊山の黄楊の木を使うのが特徴です。年輪が密で硬く粘りがあり、独特の光沢を生み出すことから、『木の宝石』とも称され、根付材として最適と珍重されています。

梶浦 様 の作品



『さるかに合戦』

飛騨高山現代木彫根付公募展
優秀賞受賞



『かぐや姫』



『グラブ』

※ イブニングセミナーとは

当会が目指す「プラチナ社会」の実現に向け、日本社会や地域の諸課題の解決に取り組む先駆者を講師としてお招きし、その先進的な手法とプロセスを学び横展開につなげるとともに、会員及び非会員の新たな交流の場を創出し、当会のプラットフォーム機能を強化することを目的としています。

※お申込みに際して記載いただいた個人情報は、当セミナーの運営管理の目的に利用させていただきます。また、今後当会が主催するイベント等のご案内に活用させていただく場合がございます。なお、ご案内不要の場合はその旨お知らせ願います。